

【学校教育目標】

進んで学びあい 心豊かで たくましく生きる生徒の育成

【目指す学校像】

～魅力ある学校づくり～

- (1) 生徒・保護者・地域から信頼される学校
- (2) 生徒一人一人が大切にされる学校
- (3) 人との関わりやつながりを大切にする学校

①生徒との信頼関係づくりを大切にし、安心して学校生活が送れるようにします。

- ・不登校傾向のある生徒の早期発見・早期対応を目指す。
- ・「まなびの教室」の経営計画を作成し、不登校生徒の居場所づくりを充実させる。

②保護者・地域の方と協働的に学びを創造し、学校・地域の活性化を図ります。

- ・学校の取組に、保護者・地域の方を積極的に招いて活動する。
- ・学校だより（学び舎）やホームページで学校の取組を多く発信する。
- ・部活動の在り方について課題を整理し、持続可能な活動となるように研究する。

【目指す生徒像】

～知・徳・体の調和のとれた生徒の育成～

- (1) 自ら進んで学び、よく考える生徒
- (2) 他を思いやり、協力し合える生徒
- (3) 目標に向かって、ねばり強く取り組む生徒

①「未来の担い手プログラム」（府教委指定3年目）の活動を通して、課題解決型学習の研究を推進します。

- ・各教科において、『問題を認識する力』『解決策を考える』『解決策を実行する力』が身につけられる授業を積極的に取り入れる。

②ICTの効果的な利活用を推進します。

- ・タブレットの持ち帰りについて、系統立てて進める。
- ・不登校生徒のタブレットを活用した学習について積極的に取り入れていく。

③多様な人との関わりの中で、人とつながることの大切さを学び、協働する力を培います。

- ・生徒会活動の取組を活性化させ、一人一人がいきいきと輝ける活動にする。
- ・ボランティア活動などに積極的に参加を促し、自己有用感を高められるようにする。

【目指す教師像】

～連携・協働～

- (1) 自らの資質を高め、社会の変化やニーズに柔軟に対応できる教職員
- (2) 組織を生かすマネジメント力のある教職員
- (3) 教育に対する使命感の中に、やりがいを感じる教職員
- (4) 地域・保護者と思いを共有する教職員

① 生徒の支援についての組織体制の改善・充実を図ります。

- ・個別の対応については、学級・学年だけにとどまらず情報の明確化・共有化を図り、組織で対応をしていく。

② 計画的な業務の遂行を目指し、働きがいのある職場を目指します。

- ・勤務時間の縮減に向けて、学校全体として月2回程度ノー残業デーを設定する。
- ・働き方改革について正しい認識を持ち、よりよい教育活動を推進する。
- ・今までの様式にとらわれない発想で、新しい学校文化の創造をする。

教職員の働き方改革の推進により、生徒と向き合う時間を確保し、

生徒・保護者・教職員がよりよい**信頼**関係でつながり、みんなが**笑顔**になることを目指します。